

二〇二五年八月三〇日

澄む水に錦模様や池の鯉

ばんこ

二〇二五年八月二九日

虫の音に校正のペン休めけり  
グリーン席なれど西日は避けられず  
登園バス向日葵畑が待合所  
白々と防波堤超ゆ秋の涛

むべ  
澄子  
康子  
千鶴

二〇二五年八月二八日

わが肩に留まらずして一葉落つ

澄子

二〇二五年八月二七日

玻璃窓を洗ふがごとき白雨かな  
掛け合ひに啼くみんなと法師蟬

澄子  
やよい

二〇二五年八月二六日

吊り橋に人影一つ秋日落つ  
遣水のシャワーに四散するバッタ  
塗香の手合はせ秘仏にまみえけり

博充  
よし女  
なつき

二〇二五年八月二五日

星月夜浮きたつ嶺々の影法師

むべ

二〇二五年八月二四日

赤まんま畦を綴りし明日香路  
草刈り機安息日も唸りをり

明日香  
みきえ

二〇二五年八月二三日

入選句なし

毎日句会みのる選・二〇二五年九月一日